

十文字学園女子大学と作業服の神蔵、女性職人の仕事着を開発

2025/11/5 18:19 | 日本経済新聞 電子版



十文字女子大と丸武が開発した作業服のファッションショーを開催した（10月26日、埼玉県新座市）

十文字学園女子大学（埼玉県新座市）の学生と作業着専門店「神蔵—KAGURA—」を展開する丸武（同市）は、建設現場などで働く女性職人のための作業着を共同開発した。「既存の鳶（とび）服は太すぎるので細くしてはどうか」「黒があると私服としても着用できるのでは」といった女子学生目線のアイデアを取り入れた。

開発したのは建設などの現場で働く女性専用のパンツ。10月26日に開催された学園祭では、開発した作業着のファッションショーを実施した。女性鳶職人に実際に着てもらった。

このプロジェクトは同大社会情報デザイン学部の授業の一環として実施した。建設業や製造業の作業着は男女兼用が増えているものの、女性が着たいと思えるデザインやサイズ、ニーズに合う商品は少ないという。女子学生の意見も取り入れ、作り上げた。作業着利用者を対象とする受注会も実施しており、今後現場で着用される見込みだ。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.